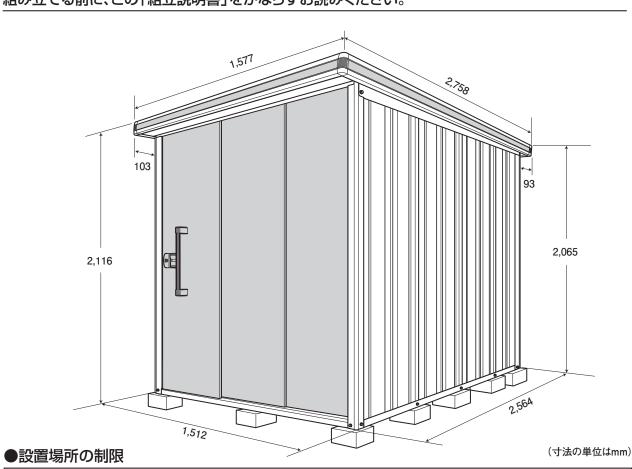
# ヨド物置こりでき 組立説明書LMD-1525型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。 組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



### ●給湯器の前には設置しないでください。 ●組立施工の際には

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
- ●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。

●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。

●崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。

- ●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。

●建物の屋上には設置しないでください。

●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。 ●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。

●梱包組み合わせ表

機種		1525 型
部品		LM5-0124
枠	上枠前後	LM5-0203
	下枠前後	LM5-0253
	上枠左右	LM5-0306
	下枠左右	LM5-0356
柱		LM5-0415
間柱		LM5-1459
鼻隠し		LM5-1103
補強	一般・積雪共通型	LM5-0515
	豪雪型	LM5-3515
床		LM5-0724
		LM5-0724
屋根		LM5-0951
壁		LM5-1004
		LM5-1004
		LM5-1022
袖壁		LM5-1053
扉		LM5-1703
棚板		LM5-1903
合計	一般・積雪共通型	18
	豪雪型	18

#### ●梱包内容表



#### ●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。

#### ※安全のため必ず手袋を着用してください。

従って組立てしてください。

4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、 ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

#### ●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

・コンクリートブロック 15ヶ(幅19 cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)

・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)※土の上に設置する場合に必要です。 ・芯棒打ち込み式アンカー (M12×70以上) 4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

#### ●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

・軍手・水準器・脚立・+ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

#### ●使用ビス一覧



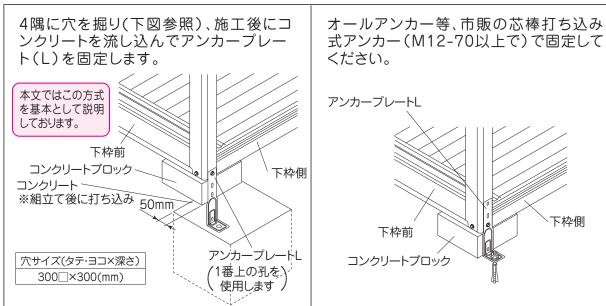
#### ●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図 のような方法があります。強風による転 倒防止のため、必ず行ってください。

内アンカーにする場合はオプションの「内アンカ - 注意 ーセット」が別途必要です。アンカープレート(L) を使って内アンカーの工事はしないでください。

《コンクリート床の上に設置する場合》

## 《土の上に設置する場合》

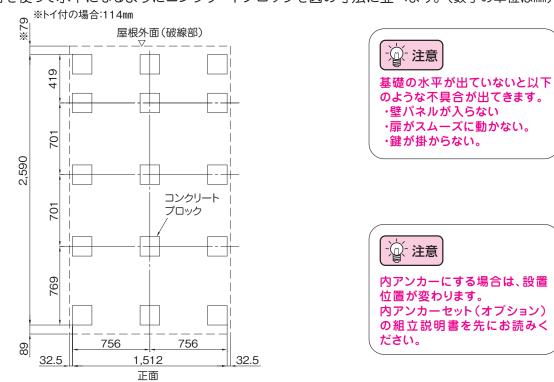


▲ 注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

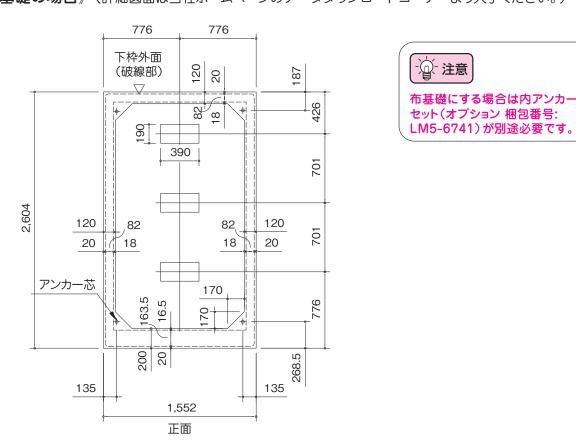
## 1基礎施工

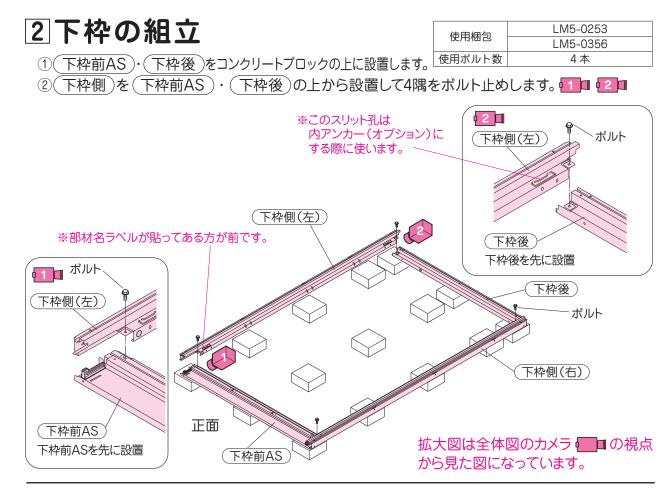
①設置場所の地ならし、地固めを行います。

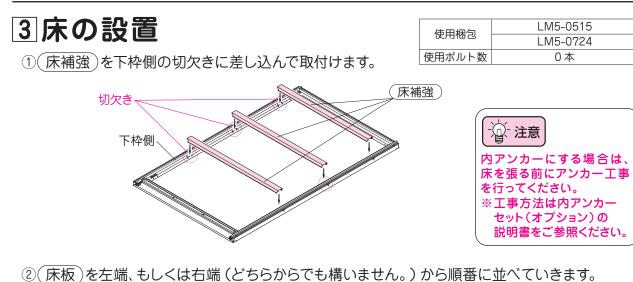
②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)

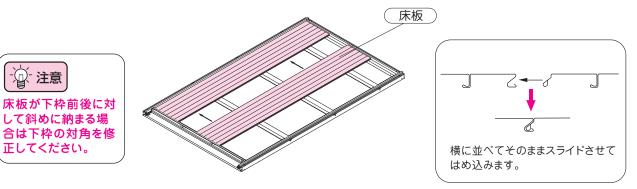


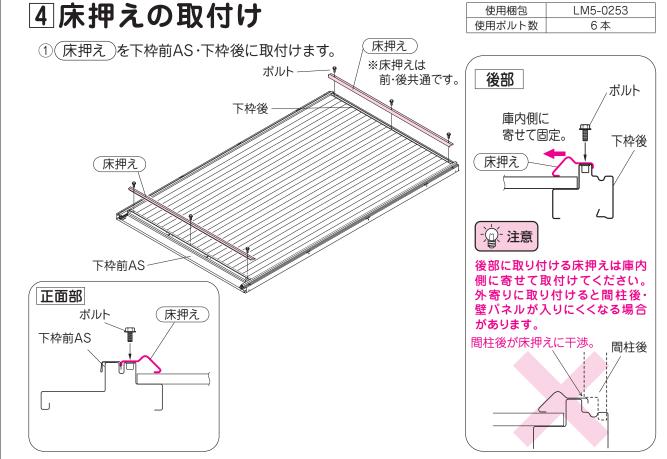
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)

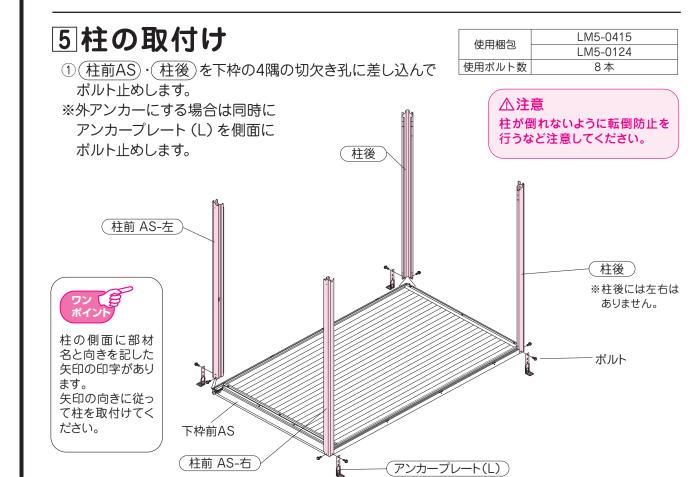


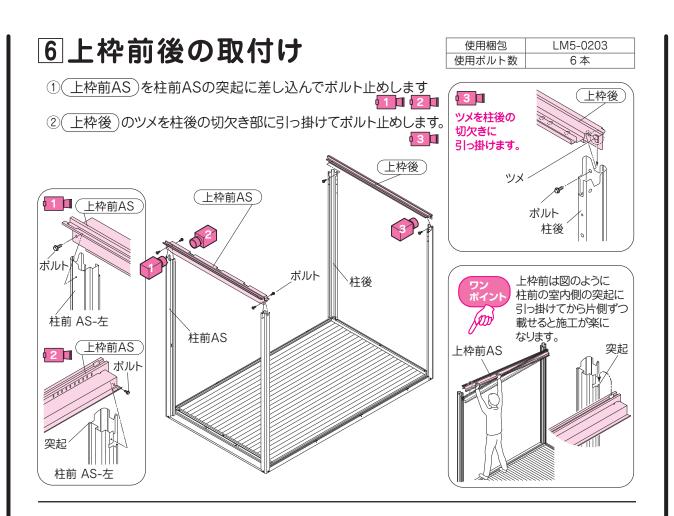


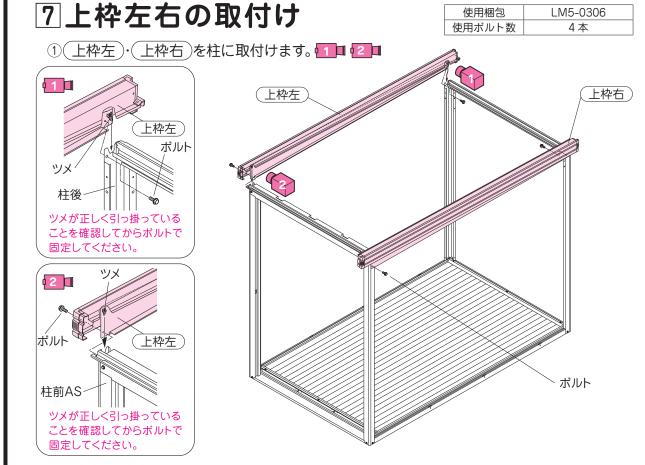










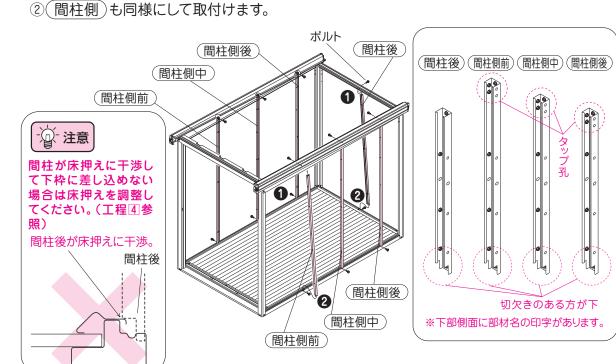


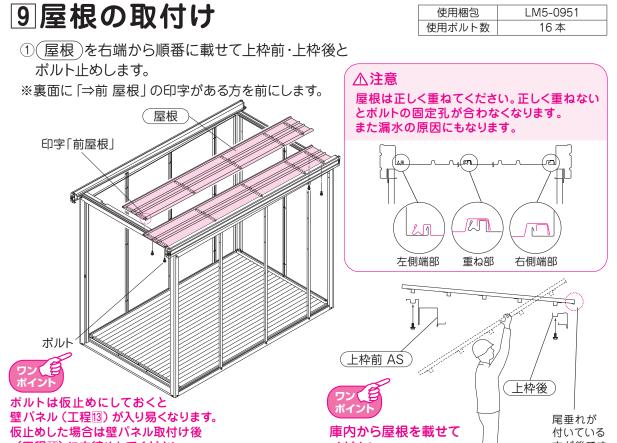


使用梱包 LM5-1459 使用ボルト数 14本 ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に

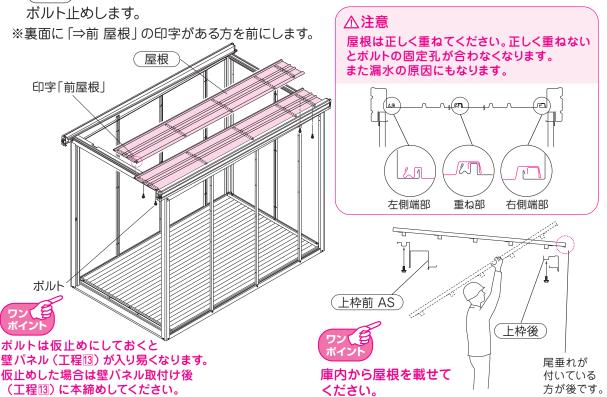
LM5-0415

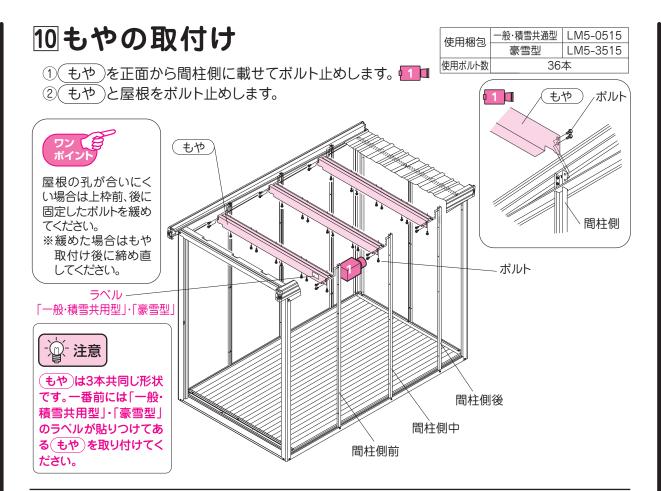
差し込んでボルト止めします。

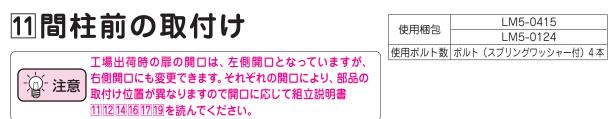


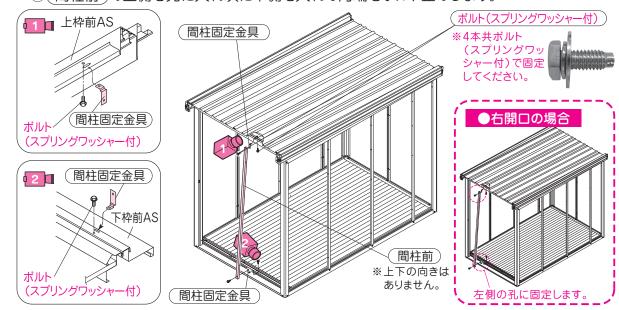








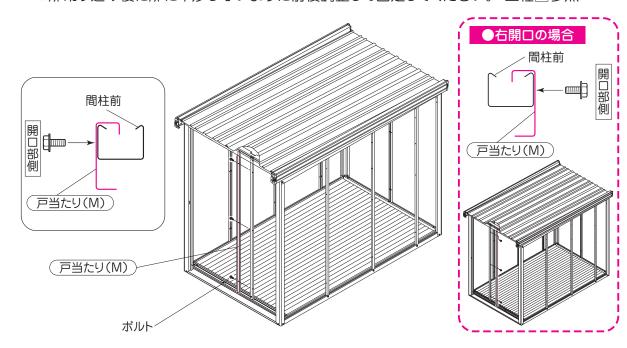


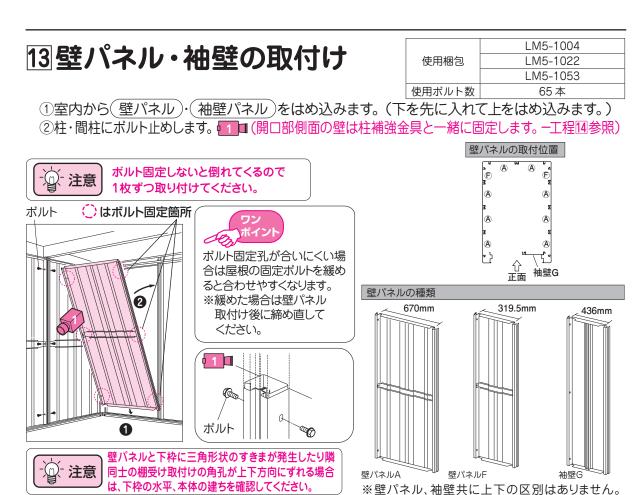


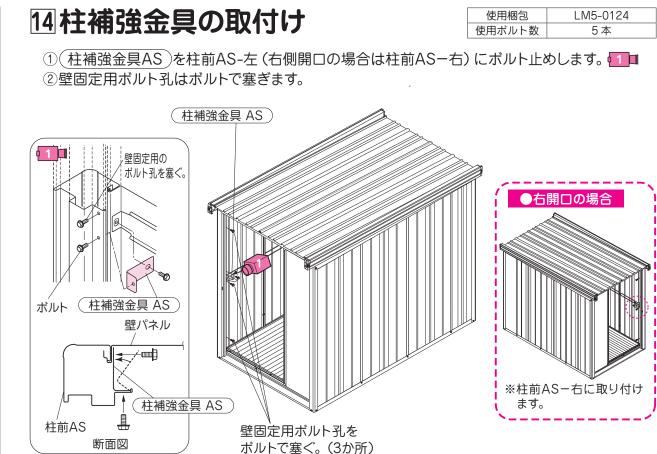
## 12戸当たりの取付け

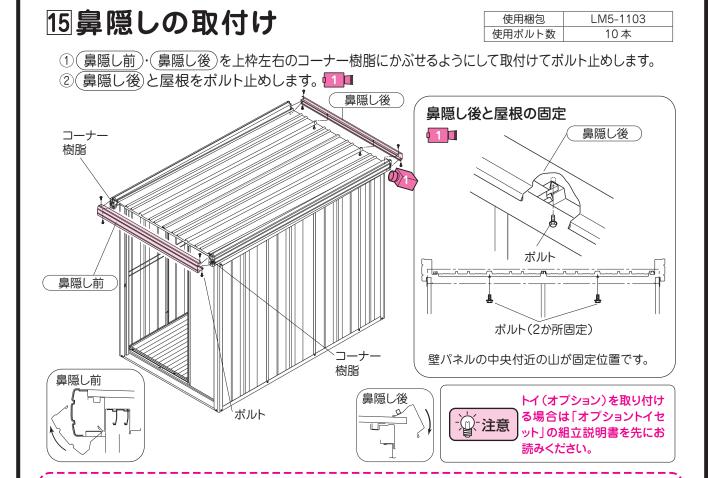
① 戸当たり(M) を間柱前に仮止めします。 ※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。- 工程⑰参照

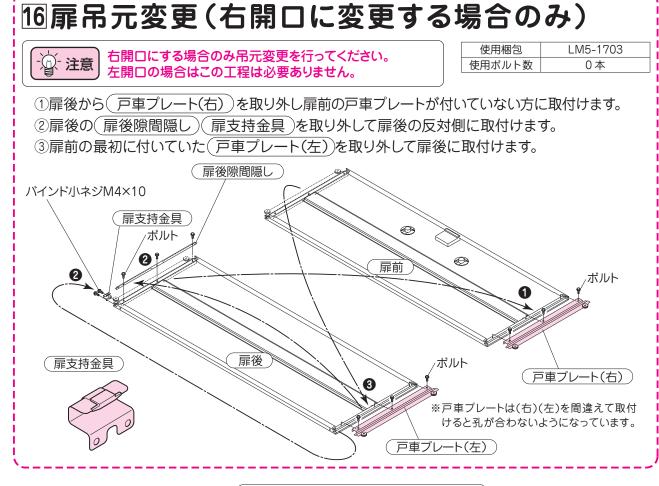
LM5-0415

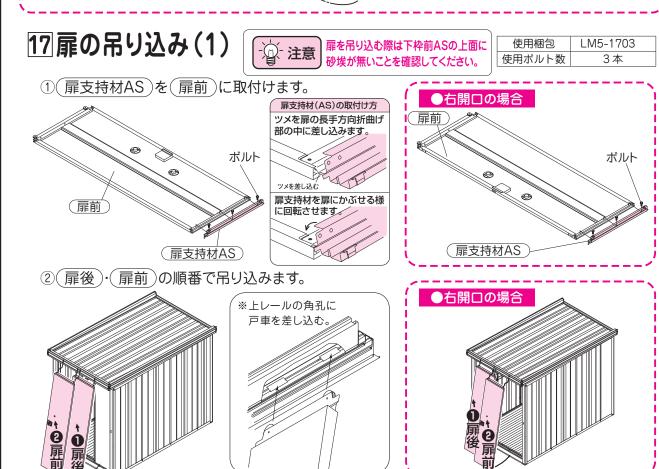




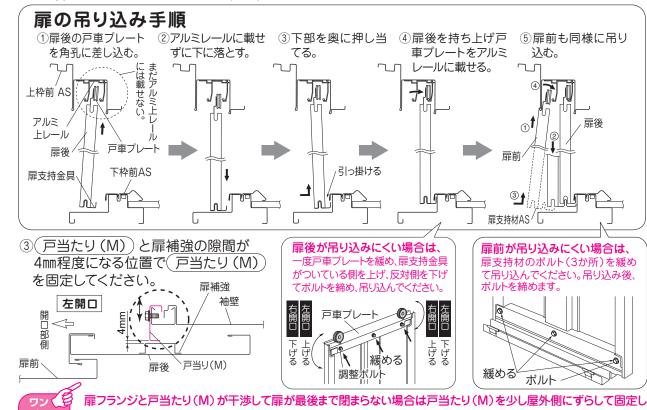








## 17扉の吊り込み(2)



## 18戸車上昇防止プレートの取付け 使用梱包 使用梱包 使用根包 使用根包 使用根包 使用ポルト数

使用梱包 LM5-1703 使用ポルト数 0 本

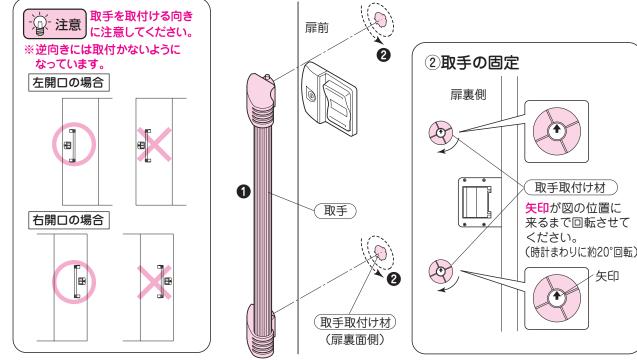
① 戸車上昇防止プレートAS を上枠前ASに取付けます。(3か所)



## 19取手の取付け

<u>使用ボルト数 0 本</u> 5りますので注意してください。

① 取手)を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。②扉裏の 取手取付け材)を回して取手を固定します。



## 20連動車の取付け

①扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。 (ネジ部を5mm程度残してください)

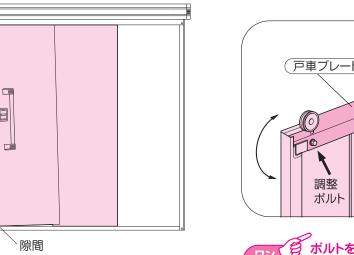
② 連動車 のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めしたボルトに引っ掛けます。 1 3 連動車 をボルトで固定します。 (仮止めしたボルトも締め込んでください。)



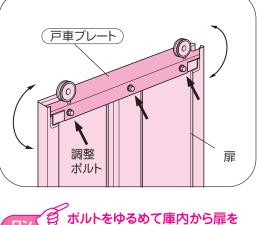
## 21扉の建付け調整

①扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、 戸車を固定しているボルト (調整ボルト) をゆるめて調整します。



注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。



22棚板の取付け

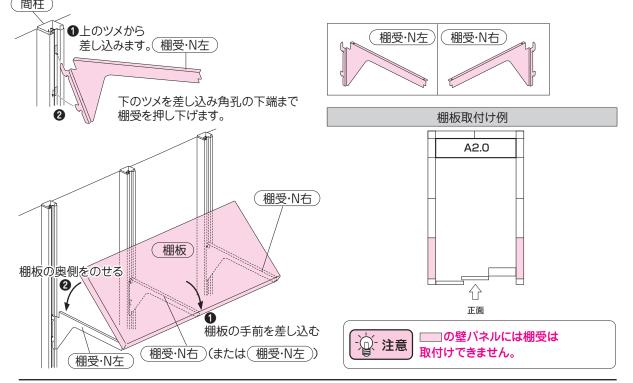
使用梱包LM5-1903使用ボルト数0 本

閉めて扉が柱に沿うように手で

押さえながらボルトを締め直します

①(棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。

② 棚板 を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)

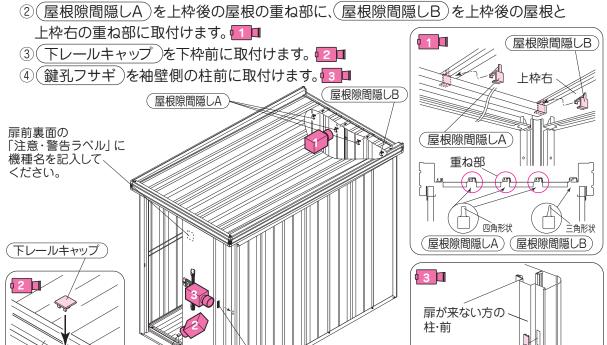


## 23 その他部品の取付け

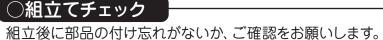
使用梱包 LM5-0124 使用ポルト数 0 本

(鍵孔フサギ )

①扉裏面の注意・警告ラベルに、機種名、を記入します。 ② (屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と



## ●**錠操作方法について** 取扱い説明書 「錠操作方法について」を必ずご参照ください。



下枠前

LM5-1703

4本

使用ボルト数

①扉の建て付け調整ができているかご確認ください。

②鍵が正常に作動するかご確認ください。

③戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。

④棚板の配置確認をしてください。

⑤機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル) ⑥ボルトの締められなめるみがないか確認してください。

## ⑥ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

- ○こんな時は		
・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS,連動車を外して扉を吊り込みなお してください。(工程17/18/20)	
・扉がスムーズに連動しない。	1.本体の建ちを確認してください。 2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。	
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程19)	
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり(M)を調整してください。(工程177)	

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。 取扱説明書は大切な書類です。 本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。



(1525)

チェック欄